

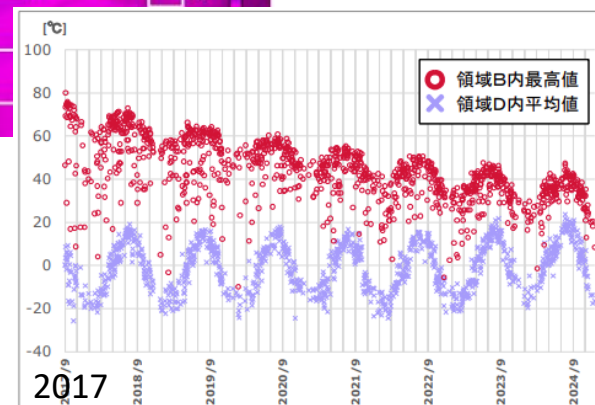
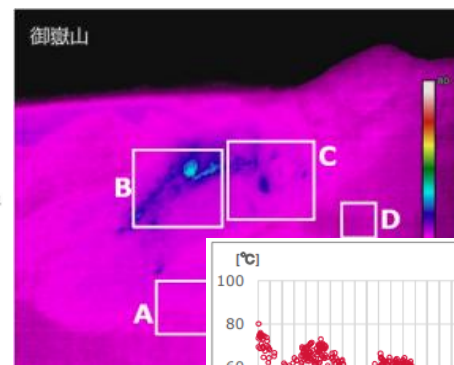
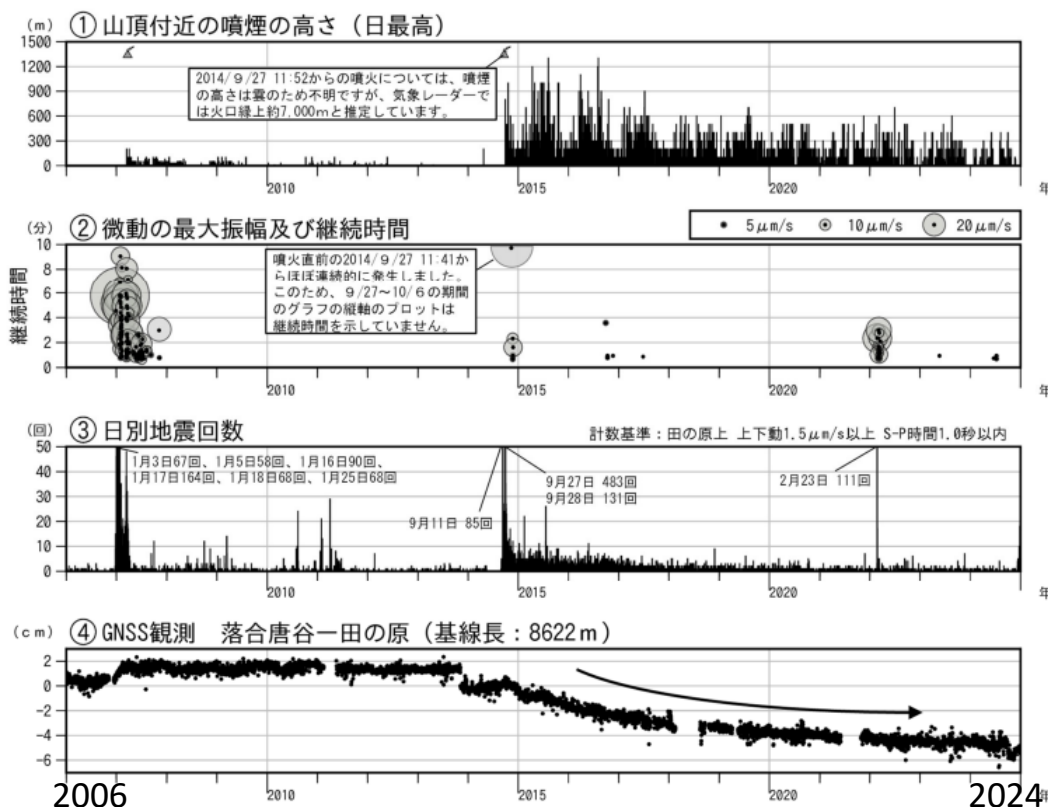
御嶽山の活動状況について

(2024年11月末まで)

剣ヶ峰山頂直下の地震活動はおおむね低調に経過しました。

剣ヶ峰南西斜面の一部の噴気孔では引き続き勢いよく噴気が出ており、地熱域の温度は高い状態が継続していますが、長期的には温度の低下傾向がみられます。

傾斜計及び GNSS 連続観測では、火山活動によるとみられる特段の地殻変動は認められません。



奥の院赤外熱映像カメラによる剣ヶ峰南西側における最高温度の推移

(火山活動解説資料 2024年年報より)

御嶽山の活動状況について

(2024年12月以降)

12月中旬以降、発生頻度がやや増加し、1月16日以降さらに増加しました。

1月16日22時00分、御嶽山に火口周辺警報(**噴火警戒レベル2**)を発表しました。

1月21日には傾斜変化を伴う火山性微動が観測されました。

火山性微動の発生後、地獄谷火口内の一部噴気孔で噴気活動が再開しているのが認められましたが、全体として噴気活動の状況に大きな変化はありません。



山頂付近の直下を震源とする地震の日別回数(2024年1月1日～2025年2月4日)

御嶽山の活動状況について

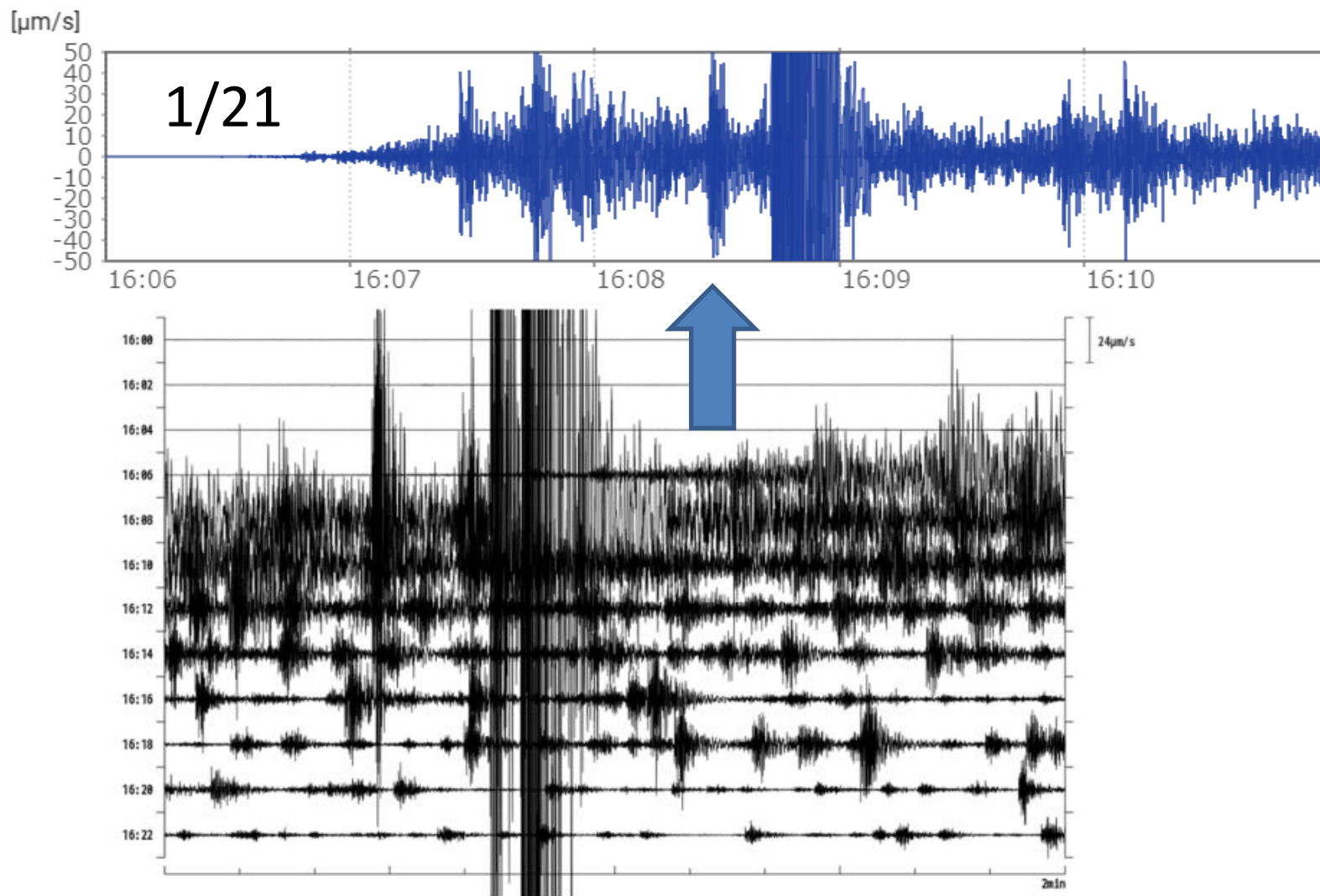
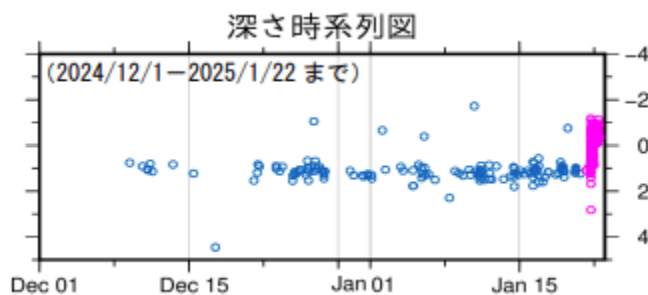
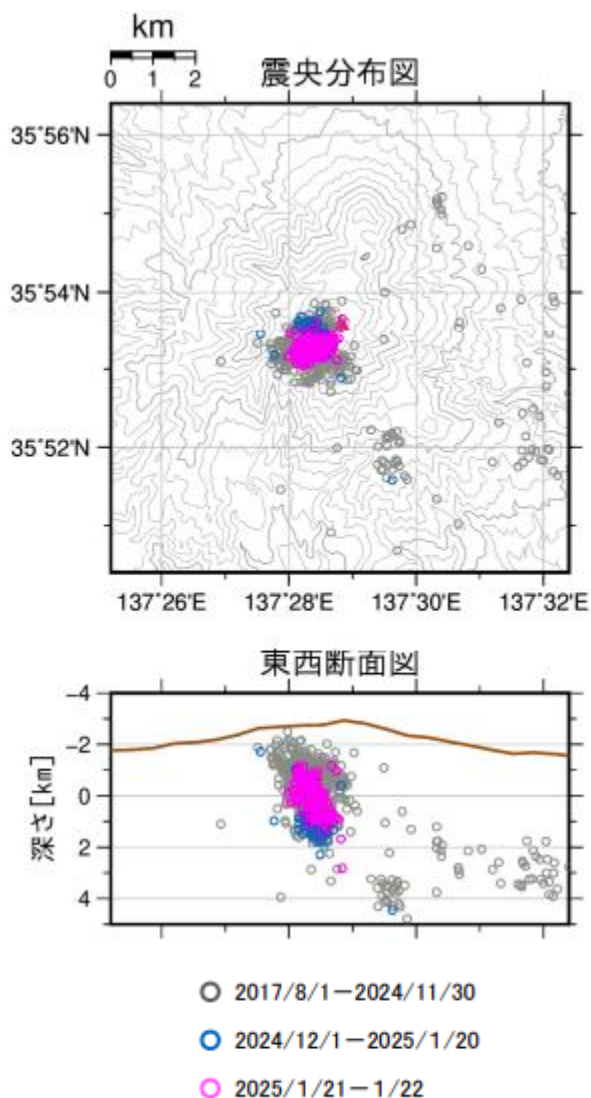


図1 御嶽山 観測された火山性微動及び火山性地震 (2025年1月21日16時00分～16時24分)

田の原上観測点の上下動成分の波形を示します。

(2025.1/21火山活動解説資料より)

御嶽山の活動状況について



御嶽山 震源分布図 (2017年8月1日~2025年1月22日14時00分)

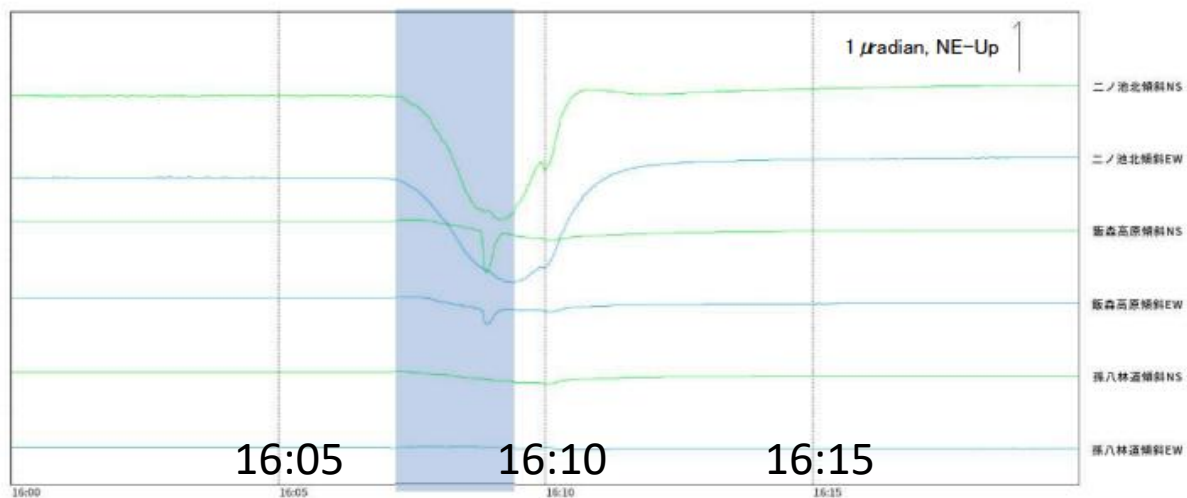


図2 御嶽山 火山性微動に伴い観測された傾斜変動 (2025年1月21日16時00分~16時20分)

(2025.1/21、1/22火山活動解説資料より)